



小笠原母島より採集された本邦新記録のチドリヒラフジツボ(新称)

Record of shallow water barnacle, *Tetraclitella divisa* (Cirripedia; Tetraclitidae) in Hahajima Island, Ogasawara.

林 亮太^{*}
Ryota HAYASHI^{*}

ヒラフジツボ属 *Tetraclitella* は 4 枚の殻板からなる直径 1~2cm 程度の平たい周殻を持つ潮間帯に見られるフジツボ類で、主壁に多層の壁管を持つ。本属はこれまで世界で化石種 2 種を含む 11 種が知られており、日本近海ではこれまでムツアナヒラフジツボ *Tetraclitella chinensis* (Nilsson-Cantell, 1921)、ヨツカドヒラフジツボ *T. darwini* (Pilsbry, 1928)、フルイヒラフジツボ *T. pilsbryi* (Utinomi, 1962) の記録がある（表 1）。周殻に孔を持たないタロクヒラフジツボ *T. multicostata* も本邦産ヒラフジツボ類として記録があるが (Utinomi, 1962)、近年の分子系統解析と軟体部の形態を精査した結果、ムツアナヒラフジツボの形態変異で同種であることが明らかにされている (Kim et al. 2019)。

本属の一種 *Tetraclitella divisa* (Nilsson-Cantell, 1921) は、スマトラ島西岸中部 Koninginne 湾（現・インドネシア、パダン周辺）で採集された標本を元に記載された (Nilsson-Cantell, 1921)。本稿では、小笠原母島での調査に際に採集

されたフジツボ類の中から、本種と一致するものが得られたので形態を報告するとともに、標準和名を提唱する。本報告に用いた標本は、千葉県立中央博物館分館海の博物館に収蔵された（標本番号 CMNH-ZC 03452-03454）。

Family Tetraclitidae Gruvel, 1903 クロフジツボ科

Subfamily Tetraclitellinae Newman & Ross, 1976

ヒラフジツボ亜科

Genus *Tetraclitella* Hiro, 1939

ヒラフジツボ属

チドリヒラフジツボ（新称）

Tetraclitella divisa (Nilsson-Cantell, 1921)

供試標本：CMNH-ZC 03452、2016 年 9 月 10 日、東京都小笠原村母島静沢浜なぎさ公園突堤 (26.635759° N,

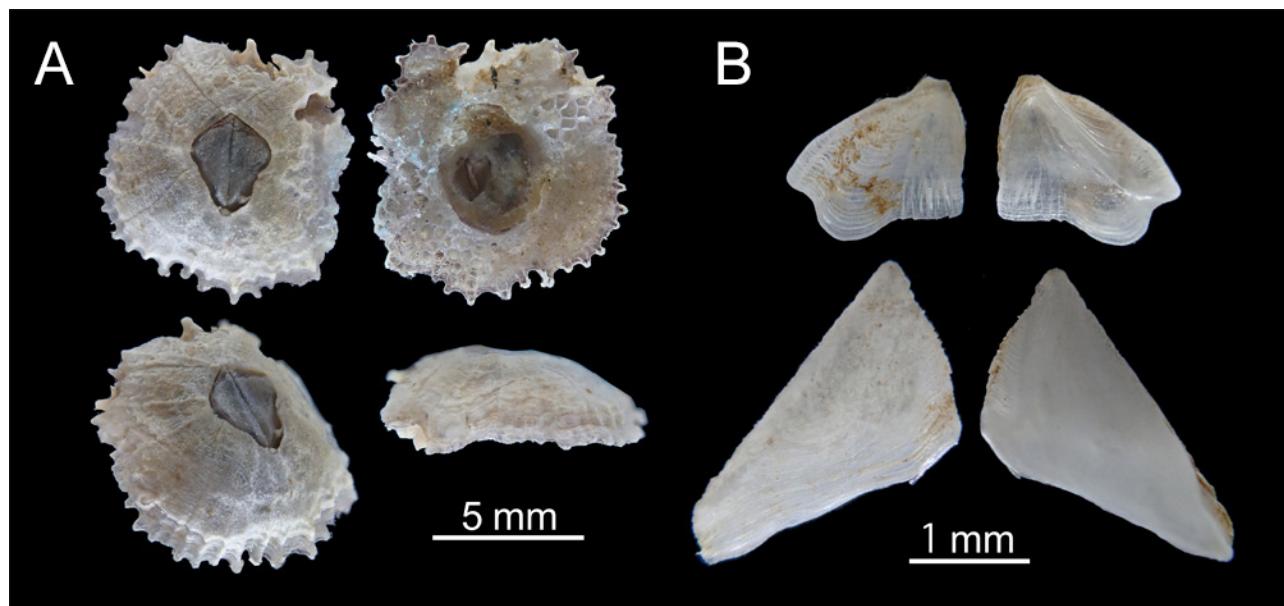


図 1 チドリヒラフジツボ (CMNH-ZC 03452)。A 外部形態。B 蓋板の形態。左上下が外面、右上下が内面。

* 日本工営株式会社 技術本部 先端研究開発センター

bubobubo32@gmail.com

142.158215° E)、林亮太採集。

形態：灰色。直径 1~2cm 程度の大きさで、平たい。周殻表面には薄い放射肋を持ち、ヨツカドヒラフジツボに見られる三角錐状の間接隆起や、ムツアナヒラフジツボに見られる孔がない。また、フルイヒラフジツボに見られる明瞭な放射肋を持たないことで区別できる。蓋板（背板）の形態が千鳥紋に似ることから、本種の標準和名としてチドリヒラフジツボを提唱する。

分布：東京都小笠原母島の潮間帯で採集された。

備考：本種は Chan et al. (2009) において南シナ海、台湾、日本にも分布すると報告されたが、本邦における具体的な採集記録や分布情報はなかった。この分布記録は、Utinomi (1949) から転記されたものであったが (Benny K. K. Chan, 私信)、Utinomi (1949) では本種について台湾からの採集記録があるのみで、本邦（南本州、九州、沖縄）からの記録はなかった。そのため、本報告が国内における初記録となる。

謝辞

本報告は科学研究費補助金若手研究 B (16K21005) の助成を受けた成果の一部である。新称は富士うららさんの発案による。Benny K. K. Chan 博士には、ヒラフジツボ属の日本での採集記録についてご教示いただいた。

引用文献

Chan, B. K. K., Prabowo, R. E. and Lee, K-S. 2009. Crustacean fauna of Taiwan: barnacles, Vol 1 – Cirripedia: Thoracica excluding the Pyrgomatidae and Acastinae. National Taiwan Ocean University Press, Keelung. 298 pp.

Kim, H. K., Chan, B. K., Xu, G. and Kim, W. 2019. The formation of lunule-like hollows in shells of the acorn barnacle *Tetraclitella chinensis* (Nilsson-Cantell, 1921), with a reappraisal of the taxonomic status of *T. multicostata* (Nilsson-Cantell, 1930) (Cirripedia: Tetraclitidae). Journal of Crustacean Biology 39(2): 136-149.

Nilsson-Cantell, C.A. 1921. Cirripeden-studien. Zur kenntnis der biologie, anatomie und systematic dieser gruppe. Zoologiska Bidrag från Uppsala 7: 75-404.

Utinomi, H. 1949. Studies on the Cirripedian fauna of Japan. VI. Cirripeds from Kyusyu and Ryukyu Islands. Publ.

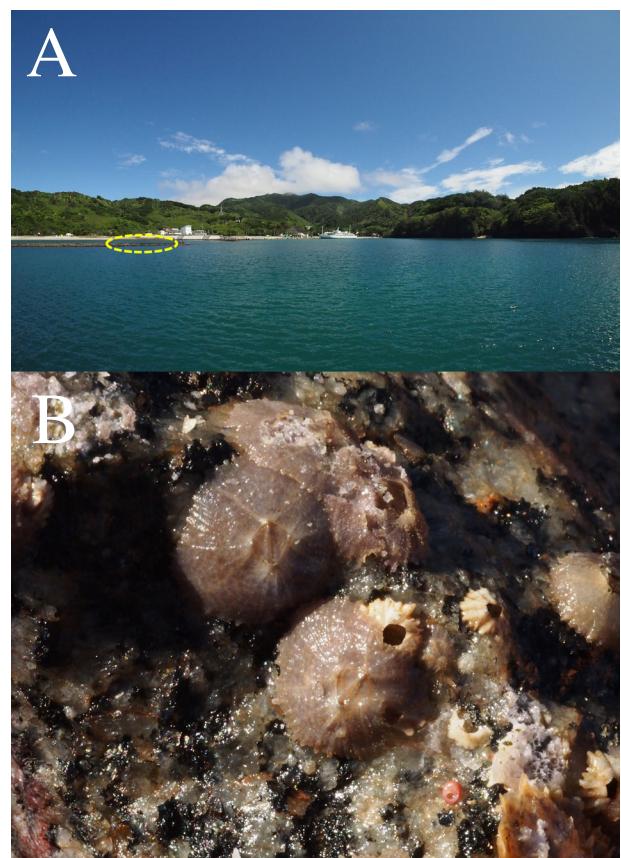


図 2 A チドリヒラフジツボの採集場所の小笠原村母島静沢浜なぎさ公園突堤。B 生息状況。

Publications of the Seto Marine Biological Laboratory 1(2): 19-37.

Utinomi, H. 1962. Studies on the Cirripedian fauna of Japan-VIII. Thoracic Cirripeds from western Kyusyu. Publications of the Seto Marine Biological Laboratory 10(2): 211-239.

表1 ヒラフジツボ属の有効種の一覧 († は化石種)。

学名	標準和名の有無	国内記録
<i>Tetraclitella chinensis</i> (Nilsson-Cantell, 1921)	ムツアナヒラフジツボ	Utinomi, 1949
<i>Tetraclitella costata</i> (Darwin, 1854)		国内記録なし
<i>Tetraclitella darwini</i> (Pilsbry, 1928)	ヨツカドヒラフジツボ	Utinomi, 1949
<i>Tetraclitella depressa</i> Foster & Anderson, 1986		国内記録なし
<i>Tetraclitella divisa</i> (Nilsson-Cantell, 1921)	チドリヒラフジツボ (新称)	本報告
<i>Tetraclitella hyastina</i> Rosell, 1974		国内記録なし
<i>Tetraclitella karandei</i> Ross, 1971		国内記録なし
<i>Tetraclitella pilsbryi</i> (Utinomi, 1962)	フルイヒラフジツボ	Utinomi, 1962
<i>Tetraclitella purpurascens</i> (Wood, 1815)		国内記録なし
† <i>Tetraclitella judiciae</i> Buckeridge, 2008		国内記録なし
† <i>Tetraclitella nodicostata</i> Buckeridge, 2008		国内記録なし